

第15週の発生動向(2006/4/10~2006/4/16)

1. 咽頭結膜熱については、むつ保健所管内で**警報**が出されました。
2. 伝染性紅斑については、弘前、上十三保健所管内で**警報**が出されました。
2. 感染性胃腸炎については、青森、弘前、むつ保健所管内において、報告数の多い状態が続いています。

第15週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ	22	1.57	16	1.07	52	3.71	3	0.43	15	1.67	7	1.17	115	1.77	-60
(60) 咽頭結膜熱			1	0.11							10	2.50	11	0.26	7
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17	1.89	25	2.78	7	0.78			5	0.83	4	1.00	58	1.38	30
(62) 感染性胃腸炎	47	5.22	63	7.00	10	1.11	5	1.00	18	3.00	25	6.25	168	4.00	18
(63) 水痘	18	2.00	8	0.89	9	1.00	5	1.00	11	1.83	4	1.00	55	1.31	-21
(64) 手足口病			1	0.11									1	0.02	0
(65) 伝染性紅斑	2	0.22	27	3			9	1.80	12	2.00	5	1.25	55	1.31	11
(66) 突発性発しん	2	0.22	3	0.33	3	0.33			8	1.33	6	1.50	22	0.52	0
(67) 百日咳															0
(68) 風しん															-2
(69) ヘルパンギーナ	1	0.11											1	0.02	-1
(70) 麻疹(成人を除く)															0
(71) 流行性耳下腺炎	4	0.44	11	1.22	2	0.22	8	1.60	16	2.67	5	1.25	46	1.10	-25
(73) 急性出血性結膜炎															0
(74) 流行性角結膜炎	1	0.50			4	2.00	1	1.00	1	0.50			7	0.64	-1
(59) RSウイルス感染症			4	0.44			3	0.60	1	0.17			8	0.19	2

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
青森	14	9	5	2	1
弘前	15	9	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
合計	65	42	23	11	6

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」: 患者発生数0

(82) マイコプラズマ肺炎(五類定点把握疾患) 八戸保健所管内: (14週:2名、15週:3名)・・・(18年計 53人)

感染症の窓

咽頭結膜熱 (別名 プール熱)

定点あたり報告数

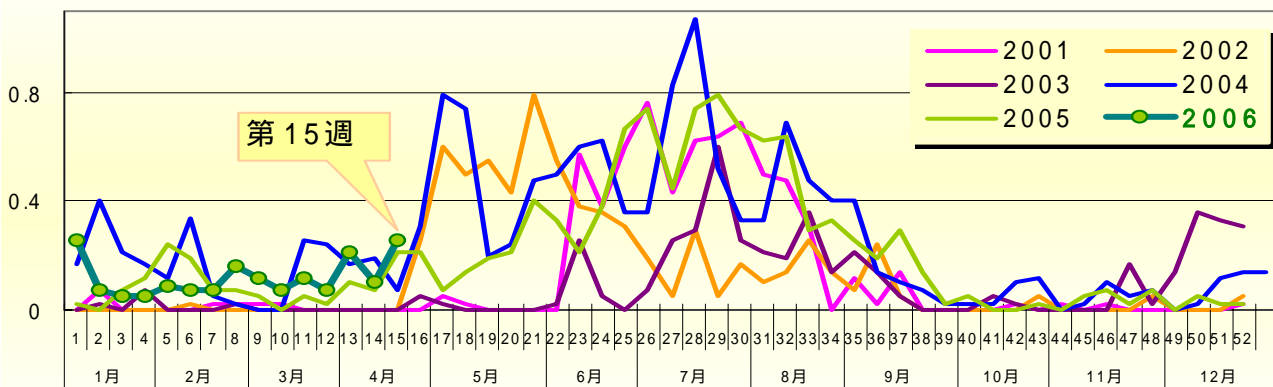


図. 過去5年間における定点あたり報告数推移(青森県) (上段:週、下段:月)

図に示すように、過去5年間の咽頭結膜熱は、年により増減が見られるものの、4月下旬から出始め7月を中心とした夏期に流行します。今年も同様な傾向に見られますが、報告数が若干多いことから今後の動向に注意が必要です。

病原体: アデノウイルス。51種類の型が知られており、多くは3型、あるいは4、7、2、11、14型もみられます。

感染経路: 患者からの鼻汁や唾液の飛沫によるもの、または目の粘液による結膜からの感染等。

症状: 発熱、頭痛、咽頭痛、結膜炎に伴う結膜充血。7型に感染すると、肺炎など重症になることもあります。

予防: 流行時にはうがい、手洗いを十分に行うこと。プールを介して感染することがあるので、

水泳前後のシャワーを励行するほか、タオルの共用は避けることが必要です。